

Vol.79

Vol.79 (2019年夏号)

# PMI 日本支部 ニュースレター

Best Practice and Competence / PM事例・知識 .....	3
Activities / 支部活動 .....	6
Stakeholders / 法人スポンサー紹介 .....	12
PM Calendar / PMカレンダー .....	14
Fact Database / データベース .....	16
Editor's Note / 編集後記 .....	20

## Best Practice and Competence / PM 事例・知識

- ◆建設産業へのプロジェクトマネジメントの普及を考える! ~PMBOK®ガイド建設拡張版日本語化をとおして~ ..... 3  
プログラム/ポートフォリオ研究会 下池 季樹

## Activities / 支部活動

- ◆PMI日本支部部会リーダー交流会 ..... 6  
PMコミュニティ活性化委員会 委員長 福本 伸昭  
部会連携ワーキンググループ・リーダー 谷藤 樹之
- ◆PMI日本フォーラム2019のご案内 ..... 8

## Stakeholders/ 法人スポンサー紹介 ..... 12

- サイフォーマ株式会社

## PM Calendar / PM カレンダー ..... 14

- PMI日本支部関連セミナー等

## Fact Database / データベース ..... 16

## Editor's Note / 編集後記 ..... 20

## ◆商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Officeの商標又は登録商標です。

# Best Practice and Competence / PM 事例・知識

## ■ 建設産業へのプロジェクトマネジメントの普及を考える！ ～PMBOK®ガイド建設拡張版日本語化をとおして～

プログラム/ポートフォリオ研究会 下池 季樹

### 1. はじめに

建設産業は少子・高齢化の進展に伴う従事者不足等の課題がある中、これらの課題解決に必要な手法と考えられるプロジェクトマネジメントについて、どうすれば建設産業に普及できるのか考えてみた。

PMBOK®ガイド建設拡張版（以下、「拡張版」）が日本語化されたが、これはプロジェクトマネジメントが建設産業に普及できる好機である。また、拡張版によればPMBOK®ガイドには記載されていない「プロジェクト安全衛生・セキュリティ・環境（HSSE）マネジメント」や「プロジェクト財務マネジメント」についてのプロジェクトマネジメント的な知見を得ることができる。特に『安全衛生・セキュリティ・環境』はIT産業でも注目されているキーワードであり、IT産業との垣根を越えた融合が図れる好機でもある。

### 2. 建設産業の現状と課題

#### 2.1 我が国の少子・高齢化による建設産業の現状

国土交通白書によると、日本人の高齢化率（65歳以上、2017年；27.7%）世界トップであり、生産年齢人口（15～64歳）は1995年をピークに減少している。そして、2065年には総人口は約8808万人、生産年齢人口は約4,529万人に減少すると言われている。

このように、我が国は少子・高齢化の進展に伴い生産年齢人口も減少し続けている。同様に建設産業においても、オリンピック関連による新たなインフラ建設の需要増や老朽化しているインフラ構造物の更新時期を迎えており、以前から担い手不足が叫ばれていたが、今後はこれにさらに拍車がかかり空前の人手不足が懸念される状況である。

#### 2.2 建設産業の生産性向上が課題

このように、建設事業は空前の人手不足状況のなかで円滑に（生産性を向上させて）進めることが極めて大きな課題となる。

建設産業の生産性向上を図るためには、次の2つのことが重要である。

##### ①IT技術の活用

人手不足を補い生産性向上が図れる。

##### ②プロジェクトマネジメントの活用

IT産業を含め異業種との垣根を超えた融合を、円滑に遂行できる体系的なマネジメント手法が必要。

### 3. IT技術活用による生産性向上

建設産業の生産性向上には、IT技術の活用が必須である。

建設関連の代表的なIT技術には、CIM（Construction Information Modeling）とi-Constructionがある。

また、「拡張版」にはBIM（Building Information Modeling）について記載されているが、BIMは建築分野の領域における概念であり、CIMは土木分野の領域における概念である。

#### 3.1 CIMによる生産性向上

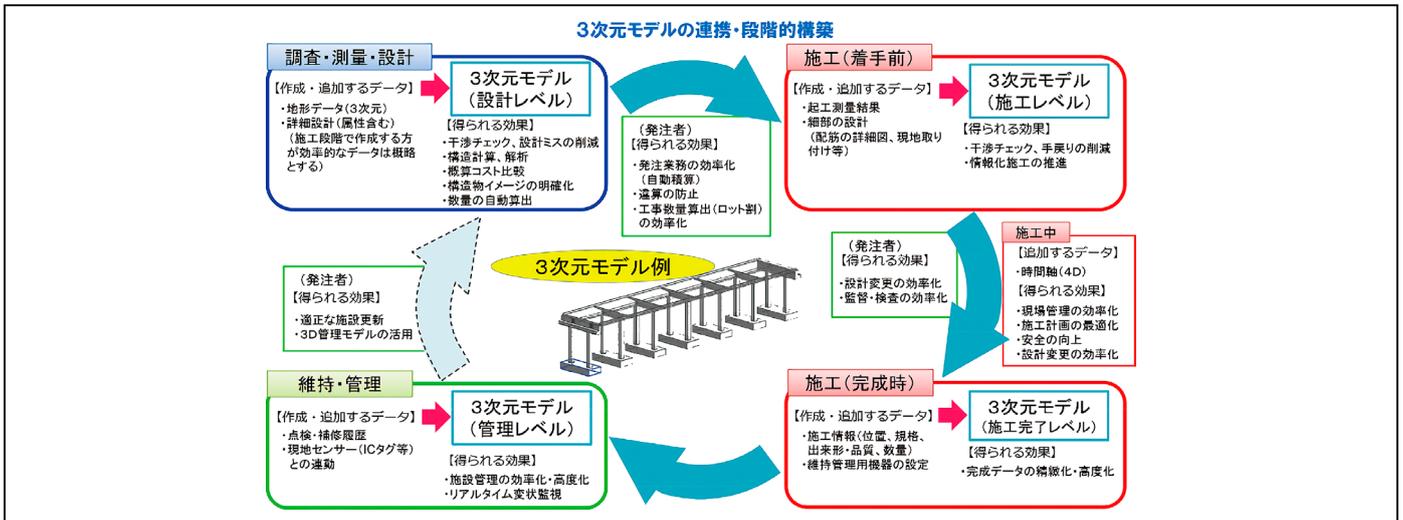
建設産業の生産性向上が図れるCIMとは、計画・調査・設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルに連携・発展させ、あわせて事業全体にわたる関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産システムの効率化・高度化を図るものである。

3次元モデルは、各段階で追加・充実され、維持管理での効率的な活用を図る考え方である。図1はCIMの概念を整理したものである。

Best Practice and Competence / PM 事例・知識

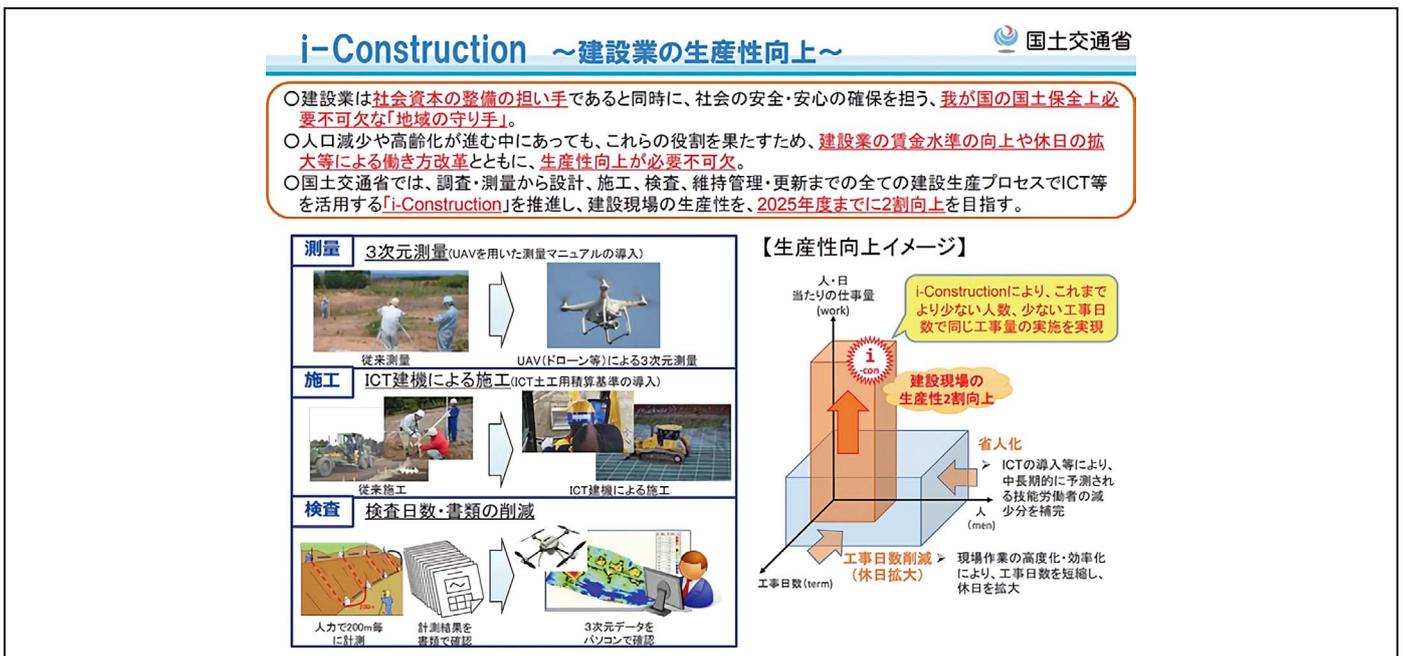
■建設産業へのプロジェクトマネジメントの普及を考える！

図1 CIMの概念



(出典：国土交通省HP)

図2 i-Constructionによる生産性向上のイメージ



(出典：国土交通省HP)

3.2 i-Constructionによる生産性向上

i-Constructionとは、ICTの活用等により建設現場、すなわち調査・測量、設計、施工、検査、維持管理・更新までのあらゆる建設生産プロセスにおいて、抜本的な生産性を向上させる取組みであり、建設生産システム全体の生産性向上の取組みをいう。

図2はi-Constructionによる生産性向上のイメージを表している。

4. プロジェクトマネジメントの活用

今後の建設産業の生産性向上を図るには、異業種との垣根を超えた融合を円滑に行える体系的なマネジメント手法が必要で、いわゆるプロジェクトマネジメントの活用が重要となる。

ここでは、日本語化された「拡張版」の特徴について示す。

【PMBOK®ガイド建設拡張版の特徴】

「拡張版」の特徴は、最近のPMI標準本の傾向を反映しておりプロセスではなく原則重視になっている。

## ■建設産業へのプロジェクトマネジメントの普及を考える！

- 建設プロジェクトでの原則や実務慣行が説明されている
  - 『PMBOK®ガイド』のプロセスやツールと技法は省かれている
  - 『PMBOK®ガイド』の特定の版に関連付いていない
  - 建設プロジェクトに固有な章（知識エリア）が追加されている
    - ・プロジェクト安全衛生・セキュリティ・環境マネジメント
    - ・プロジェクト財務マネジメント
- ※下記枠内は追加された章を抜粋したものである。

第14章	プロジェクト安全衛生・セキュリティ・環境 (HSSE) マネジメント
14.1	建設におけるプロジェクトの安全衛生、セキュリティ、環境マネジメント
14.2	プロジェクトHSSEマネジメントの計画
14.3	プロジェクトHSSEマネジメントの実行
14.4	プロジェクトHSSEマネジメントの監視・コントロール
第15章	プロジェクト財務マネジメント
15.1	建設におけるプロジェクト財務マネジメント
15.2	プロジェクト財務マネジメントの計画
15.3	プロジェクト財務マネジメントの監視・コントロール

## 5. プロジェクトマネジメントの普及には

建設産業におけるプロジェクトマネジメントの普及には、PMP® (Project Management Professional) 取得者を増やすことであると考え。そのためには、公共事業の入札参加資格要件にPMP®を加えてもらうこと提案する。

現在、公共事業の入札参加資格要件には技術士（文部科学省）、一級土木施工管理技士（国土交通省）、RCCM（建設コンサルタント協会）、土木学会認定技術者資格（土木学会）等、多くの国家資格や民間資格があり、業務に適した資格を取得した管理技術者や主任技術者の配置が求められている。これらの資格の中で、特に技術士取得者や技術士を多数抱えている企業は、圧倒的に有利な仕組みとなっている。そのため、建設系技術者は技術士取得を目指し、企業は多くの技術士を養成・確保を継続している。

その技術士（Professional Engineer）とは、産業経済、社会生活の科学技術に関するほぼ全ての分野（21の技術部門）をカバーし、先進的な活動から身近な生活にまで関わりを持

つ。技術士は、国によって科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者で、科学技術の応用に携わる技術者にとって最も権威のある国家資格である。

前述のように、まずは公共事業の入札参加資格要件としてPMP®を加えるよう働きかけることが肝要である。公共事業の中の建設現場を例にとり、PMP®が事業の資格要件として加えてもらえるための考え方を以下に示す。

◎マネジメント力の観点：PMP® > 技術士

◎専門技術力の観点：PMP® ≤ 技術士

◎建設現場の安全・品質・工程管理の観点：

1級土木施工管理技士 > 技術士

したがって、それぞれの資格の専門性を補完する組み合わせとして、以下のように考えれば技術士と同等レベル以上になる。

PMP® + 1級土木施工管理技士 ≥ 技術士

このように考えれば、1級土木施工管理技士資格保有者に対してPMP®取得へのモチベーションが上がりPMP®資格取得者が増加し、建設産業にもプロジェクトマネジメントが普及するようになるのではないだろうか。

## 6. おわりに

少子・高齢化の進展により建設産業は空前の人手不足であり、生産性の向上にはCIMやi-Construction等、IT技術の活用が必須である。建設産業の生産性向上を実現するためには、IT産業をはじめ異業種との垣根を超えた融合が図れ、かつ体系的なマネジメント手法であるプロジェクトマネジメントの導入が近道である。プロジェクトマネジメントの普及には、公共事業の入札参加資格要件としてPMP®が加わることが肝要であり、そうすればおのずと建設系技術者のPMP®取得者が増えることとなる。

建設系技術者の方々には、まずはPMBOK®ガイド建設拡張版でプロジェクトマネジメントをじっくりと学ぶことをお薦めする。



Construction Extension  
To the PMBOK® Guide

『PMBOK®ガイド  
建設拡張版』2019年

# Activities / 支部活動

## ■ PMI日本支部部会リーダー交流会

PMコミュニティ活性化委員会 委員長 福本 伸昭  
部会連携ワーキンググループ・リーダー 谷藤 樹之

### ■ 発足の経緯：部会リーダー交流会とは

PMI日本支部戦略委員会の一つであるPMコミュニティ活性化委員会には、現在「リーダーシップ推進」、「情報発信」、「ボランティア活動支援」、「部会連携」の4つのワーキンググループが設置されており、ワーキンググループ間で協力しながらPMI日本支部の研究会等の部会コミュニティがさらに活性化するための活動に取り組んでいます。部会リーダー交流会は部会連携ワーキンググループの主たる活動として、①PMI日本支部の全体活動方針・活動計画を各部会と共有するため、②各研究会が他の研究会の活動状況を直接知ることができる場、③部会間の連携活動等に関する意見交換の場、の3つを提供することを目的に定期的に開催している会合です。

部会リーダー交流会の運営は2017年1月より開始され、現在は年度報告会1回と定例会3回の合計4回の会合を各年度に開催しています。定例会の際は関西ランチと中部ランチにはリモート会議システムで参加いただいておりますが、会合の目的を踏まえて毎回すべての研究会のリーダーに参加をお願いしています。各部会のリーダー、サブリーダーの皆様には毎回多くのご協力を頂いておりますこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

### ■ 交流会当日の様子

直近の年度報告会として昨年12月8日に開催した2018年度第4回部会リーダー交流会の開催内容をご紹介します。

例年11月から12月にかけて各部会で年度総括を踏まえた次年度活動計画が策定されますので、この時期に合わせて各部会に年度報告会用資料のご提出をお願いしています。2018年度も同様に、具体的には活動結果と次年度計画をまとめた「報告用資料」と他の部会に紹介・提案したい点にフォーカスした「発表用資料」を事前資料としてご提出いただきました。また、当日の開催準備にあたってはPMコミュニティ活性化委員会のほか、PMI日本支部事務局より多大なご支援をいただいで運営体制を作っています。

当日は13時より福本委員長の挨拶で開幕。PMI日本支部の全体活動について、端山副会長より戦略運営委員会からの年度総括として20周年記念事業などをご報告いただき、続いて、片江副会長よりミッション委員会で策定された2019年度計画の概要をご説明いただきました。その後、より詳細な活動計画について各戦略委員会からご説明いただきました。それらの全体活動についての説明の流れを受けて、各部会の活動報告に入りました。各部会の発表はライトニングトーク(Lightning Talk)と呼ばれる、各部会からの3分間の発表を



福本理事挨拶



高橋顧問による発表

## Activities / 支部活動

## ■ PMI日本支部部会リーダー交流会

連続していく形式で行われました。途中2回の休憩を挟みませんが、すべての報告が終了するまでの約1時間、参加された皆さんは各部会の発表に聞き入っておられました。

後半の最初はPMコミュニティ活性化委員会の吉田副委員長より、部会内および部会間のコミュニケーションツールに関するトピックスとして、これまで利用されてきたサイボウズLiveのサービス提供終了にともなってポストツールに選定したZOHO Connectの利用方法についてご説明をいただきました。すでに多くの部会がデータの移行を完了していましたが利用を開始してから間もないこともあり、活発な質疑応答が行われました。ここまでで一連の発表は終了し、奥澤会長より全体講評をいただいて、全員で記念撮影を行いました。最後はアルコールも交えての懇親会で部会間の交流促進が行われました。

なお、定例会は3月、6月、10月の平日夜に開催している全体で2時間の会合です。前半部分をPMI日本支部全体活動の状況を共有するための「全般活動共有セッション」、後半を部会間での情報交換と交流促進を目的とする「交流会セッション」とする構成としています。全般活動共有セッションでは「PMI日本支部リーダーシップミーティング」や「PMI Japan Festa」など、開催時期にあわせたトピックスをタイムリーに共有できるようにしています。特に昨年は「20周年記念行事」に関する種々のイベント情報の共有の場として活用されました。もう一方の交流会セッションでは、毎回2部会よりライトニングトーク形式の発表で活動状況をご紹介

いただく等、部会活性化のヒント等を提供いただいています。

## ■ 支部会員、非会員への呼びかけ

PMI日本支部の全体活動に関する具体的内容にご興味のある方は、PMコミュニティ活性化委員会にぜひご参加されることをお勧めします。部会に所属され研究活動等に携わっておられる支部会員の方だけでなく、現在は部会活動に関わっておられない支部会員の方やPMI日本支部の活動にご興味をお持ちの非会員の方にとっても、PMコミュニティ活性化委員会への参加は全体活動の最新情報を知り得る機会となります。部会リーダー交流会への参画については、全部会の活動の深い情報を得ることができること、定期会合を通じて複数部会の代表や理事とのコミュニケーションを図れることなど多くのメリットがあります。PMコミュニティ活性化委員会では、部会リーダー交流会の企画・運営にご参画いただける方を含めメンバーを随時募集中です。委員会メンバー一同、皆様のご参加をお待ちしております！

## ■ 最後に

部会リーダー交流会はPMI日本支部の多くの方のご支援をいただくことで、活動開始から3年目に入ることができました。今後も部会活動の活性化を支援する活動を継続してまいります。活性化に貢献するために新たに取り組む内容もまだまだあると考えておりますが、引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



交流会

## ■PMI日本フォーラム2019のご案内



一般社団法人PMI日本支部 主催

## PMI日本フォーラム2019のご案内

今年も7月20日、21日の両日にわたり「PMI日本フォーラム2019」を開催する運びとなりました。これもひとえに会員各位、法人スポンサー、アカデミックスポンサーならびにフォーラム・スポンサーの皆さま、日ごろPMI日本支部の活動にご賛同いただいている関係諸機関の皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

また、昨年のPMI日本支部の20周年に引き続き、今年はPMI本部創立50周年の記念すべき年になります。この50周年に当たってPMI本部では様々なサービスを提供する予定になっており、会員の皆様も是非ご活用願いたいと思います。

さて、2019年は翌年に東京オリンピックを控え、世界での日本選手の活躍も数多く報道され、オリンピック開催への気運が高まってきているように思います。一方、国際環境は厳しい緊張状態を継続しており、また経済の世界でもポピュリズムと自国優先主義が広まり、自由貿易に象徴される共栄の理念が危機に瀕しています。そのため経済的にも多くの不確定要因を抱えています。

経済活動を支える技術革新では、IoT、ビッグデータ、AIなど従来のビジネスモデルを根底から覆すDisruptive Technologyが猛スピードで発展しています。そのため、この人類の歴史の転換点になる大きな潮流に、いかに適応し主導権を握るかについて様々な取り組みや試行錯誤が繰り返されています。

このような流れの中で、PMI本部自身もこの潮流の主導権を握るべく、PMI2.0へのTransformation Journeyを策定し、その途上にあります。その中で、PMIのブランドそのものを根本から見直そうとする作業もあり、あるべき姿、提供すべきサービス、そして「誰に」という根本的な問いに、真剣に答えようとして様々な情報の提供、方針の展開などが行われています。日本支部も今年度は2017年に開始した中期計画の最終年にあたり、次の中期計画を策定する年に当たっています。その中で、PMI本部が提供する最新の情報や資産を、会員の皆さまにより早くより共有していただくため、タイムリーな翻訳、出版、WEBへの掲載、セミナーの開催を行ってまいります。

今年の日本フォーラムのテーマは昨年を引継ぎ「新しい潮流へのチャレンジー変革をリードするー」です。今まさに私たちがその渦中にある新たな潮流に対し、様々な変革を実現して潮流の先を走れるよう、手法やノウハウを提供する使命をPMI日本支部は負っていると思っております。今年もこのテーマについて数々の示唆をいただける方々を講師として招請致しました。どうぞご期待ください。

最後に、PMI日本支部を含むPMIの活動は全てがボランティアに支えられております。会員ならびに関係各位の一方ならぬ献身に対し重ねて心より感謝いたします。PMI日本支部の活動にご理解と引き続きご支援を賜るようお願い申し上げます。

### 参加費 (税込)

参加要項		参加費			
		PMI日本支部 会員	法人 スポンサー	一般	
セッション	早割り料金	1日参加	17,000円	19,000円	29,000円
		両日参加	24,000円	28,000円	46,000円
	通常料金	1日参加	18,000円	20,000円	30,000円
		両日参加	26,000円	30,000円	48,000円
初日交流会		3,000円	3,000円	3,000円	

申込みに関するお問合せはPMI日本フォーラム受付窓口へ

問合せ先: [forum-2019@pmi-japan.org](mailto:forum-2019@pmi-japan.org)

フォーラム受講申し込みはPMI日本フォーラム2019公式サイトから

(日本語) <https://www.pmi-japanforum.org/pmij2/forum-2019/index.html>

(英語) <https://www.pmi-japanforum.org/pmij2/forum-2019/e/index.html>



# “新しい潮流への チャレンジ” —変革をリードする—

■開催日 2019年7月20日(土)~21日(日)

受付開始 9:30 ~ (20, 21日)

講演 10:00 ~ 18:15 (20日)

10:00 ~ 18:00 (21日)

交流会 18:30 ~ 20:30 (20日のみ)

※交流会は、PMという同じテーマを抱えた者同士が語り合うことでさまざまなヒントを得ることを目的としています。初めての方も、ぜひご参加ください。

■講演会場 学術総合センター

■交流会会場 如水会館 (学術総合センター隣接)

■同時中継 基調・招待講演の全セッションを全国に同時中継



学術総合センター 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 03-4212-6321  
東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A6, 8, 9出口  
東京メトロ東西線「竹橋」1b出口

■支部会員の方はお得な支部会員料金でご参加いただけます。この機会に支部への入会をご検討ください。

■早期申し込み割引制度  
2019年6月21日(金)までに参加費お支払い完了の場合に、割引の料金で参加できます。

■参加費お支払い後のキャンセルはお受けできません。確実に参加いただけることを確認の上申し込みください。

■お申し込みより10営業日までにお支払い未完の場合、断りなくお申し込みを取り消させていただく場合があります。

■PDU取得(受講証明)は、タレント・トライアングルの各領域でPDUが取得できます。公式サイト「参加要項」をご参照ください。

■同時中継での参加も会場に参加された場合と同じPDU受講証明書を発行します。

■ご注意

①申し込みは1日単位です。半日単位や1講座のみの申込みはできません。

②1日目: 13時30分~18時15分、2日目: 10時00分~18時00分は複数トラック方式のプログラムです。

受講申込みの際、参加を希望する講演を各時間ごとに選択してください。

Activities / 支部活動

PMI日本フォーラム2019のご案内

プログラム構成  
7月20日(土)

PMI日本フォーラム2019

トラック	【メイントラック】				【併設トラック】			
	招待	PFM/PGM/事例・手法	PM一般/事例・手法	ソーシャル	PMBOK®/PM一般	アカデミック	人材育成/PM一般	
9:30 ~	受付開始 (9:30 ~)							
10:00 ~ 10:10	奥澤 薫 PMI日本支部 会長							
10:10 ~ 11:10 (60min)	Sunil Prashara President & Chief Executive Officer, PMI Tejas Sura PMI Board of Directors 「The Value of Project Management」 - PMI's 2019 Pulse of the Profession®	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)			
11:10 ~ 11:20	佐藤達明 広島修道大学 教授 「近代マネジメントの歴史におけるプロジェクトマネジメントの過去から現在、そして未来」	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)			
11:20 ~ 12:20 (60min)								
12:20 ~ 13:30	昼 休 み (70分)							
13:30 ~ 14:30 (60min)	Marcelo Sechieri PMO Leader at Banco Toyota do Brasil 「Using "Project Management CANVAS" to collaboratively plan your project portfolio」	A-1 中級 鈴木研一 明治大学 教授 「EVMとESのさらなる活用に計画する統計学の知見と技法」	B-1 中級 中村正伸 香川大学大学院 教授 井井 薫 アジャイルPM研究会 「共創を加えるアーキテクチャ」	C-1 中級 金田芳博・中島雄平 中部ブランチャ地域 ソーシャルマネジメント研究会 「地域での先進活動に、マネジメントを支援として我々が貢献できること」	D-1 上級 鈴木安而 プロジェクト マネジメント研究会 「PMBOK®ガイド第6版には、なぜ新しく三つのプロセスが追加され一つが削除されたのか」	E-1 内海康雄 国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校 校長 「これからの高専人材育成 ~地域との連携についての視点~」	F-1 中級 谷口和行・川口尚子 法人スポンサー・人材育成SG 「プロジェクト・マネジャーに必要な人間力」	
14:30 ~ 14:45	休 息 (15分)							
14:45 ~ 15:45 (60min)	三森ゆりか 附つくば言語技術教育研究所 代表取締役社長 「これからの日本に必要な言葉の教育 - 言語技術」	A-2 中級 近藤 浩・上林大洋 ポートフォリオ/ プログラム研究会 「中堅Clerポートフォリオやってみたい」	B-2 中級 飯村北海・大西 徹 アジャイルPM研究会 「2019年アジャイルプロジェクトマネジメント意識調査結果と提言」	C-2 中級 高橋正幸・藤井新吾 ソーシャルPM研究会 「SDGsの達成を目指して①日本語化より建設業へのプロジェクトマネジメントの普及を考える！」	D-2 中級 伴 和子・下池季樹 標準推進委員会 PMI日本支部 理事 「PMBOK®ガイド建設版 日本語化より建設業へのプロジェクトマネジメントの普及を考える！」	E-2 上西啓介 大阪大学大学院 教授 「産学官共創大学院構想とPM技術習得への動機付け」	F-2 中級 丸山 久 法人スポンサー・ ケースメソッドSG 「若手PM育成SG 「若手PM育成方法の「気づき」と「学び」」	
15:45 ~ 16:00	休 息 (15分)							
16:00 ~ 17:00 (60min)	岡田勝利 産業観光株式会社 代表取締役社長 「世界初に拘った製品開発を続ける中小企業の生き残り戦略」	M-5 遠山文規・荒武謙一郎 ポートフォリオ/ プログラム研究会 「プロデューサーシップの理論と実践 - 復興時代のなりわいづくり」	A-3 中級 野村建太郎・鈴木由恵 PM研究会 ソリューションズ ディレクター プロジェクトマネジメント アナリスト 「実行支援型PMO」	B-3 中級 稲葉涼太・大久保剛 ソーシャルPM研究会 「SDGsの達成を目指して②(個人として)人生100年時代を豊かにするアジャイルなパラレルキャリア」	C-3 基本 遠藤貴道 PMBOK®セミナープログラム 「協働のプロジェクトマネジメント、現場から見たPMBOK®ガイド - 品質保証の現場から見た、PMBOK®ガイド -」	D-3 基本 伊藤 衛 PMI日本支部 理事 「PM教育におけるナラティブアプローチ」	E-3 武上弥寿 PMI日本支部 理事 「Be the Transformer - DX時代のPPPMとAI活用プロジェクトでの挑戦」	
17:00 ~ 17:15	休 息 (15分)							
17:15 ~ 18:15 (60min)	浦川伸一 損保ジャパン日本興亜株式会社 取締役業務執行役員CIO 「DX「2025年の崖」克服に向けたSOMPOのチャレンジ」	M-6 渡辺敬之 ポートフォリオ/ プログラム研究会 「プロジェクトマネジメント(PGM)とベネフィット実現マネジメント(BRM)をやってみよう！」	A-4 基本 安部 修・松井浩二 PMツール研究会 「プロジェクトに成功とHappinessをもたらす振り返りと共有ツール(EMA)」	B-4 中級 福澤 進・鬼塚裕代・大田由希子 ソーシャルPM研究会 「SDGsの達成を目指して③(社会として)新たな「絆」の形 - その成否の鍵は、PMBOK®の「専門家の判断」だった!? -」	C-4 基本 藤嶋二 西野プランチ PM実践研究会 「初心者による“富士山”初登頂プロジェクトへの挑戦 - その成否の鍵は、PMBOK®の「専門家の判断」だった!? -」	D-4 中級 神庭弘年 神庭PM研究所代表 「タレント・トライアングルの背景と大学教育への期待」	E-4 牛山主計 法人スポンサー・ ケースメソッドSG 「ケースメソッドを活用したプロジェクトマネジャー育成の実践法」	
18:15 ~ 18:30	移 動 (15分)							
18:30 ~ 20:30	ネットワークング (120分)							

7月21日(日)

トラック	【メイントラック】				【併設トラック】			
	招待	PMO/PM一般	事例・手法/PM一般	リスク/OPM/事例・手法	事例手法/PM一般	アカデミック/PM一般	グローバル・PM一般	
9:30 ~	受付開始 (9:30 ~)							
10:00 ~ 11:00 (60min)	栗島 聡 NITコムウェア株式会社 代表取締役社長 「ビジネスポートフォリオ変革へのチャレンジ - Slerからビジネスパートナーへ」	M-7 近藤昇久 セミナー・プログラム 「セミナー・プログラムが提供する月例セミナーとJapan Festaの魅力をお伝えします!」 「トレンド・トライアングルの視点から」	G-1 基本 西村 潤・松橋悠次郎 関西プランチ PM創生研究会 「プロジェクトに成功に導くためのプロジェクトマネジメント」	H-1 中級 足立康子・島羽幸幸 リスクマネジメント研究会 「リスクに着目した新たな全体リスク分析手法の提案 - モンテカルロ・シミュレーションの呪縛からの解放」	J-1 中級 大井 悠 株式会社・ティ・エス シニアコンサルタント 「飯州におけるビジネスアナリスト育成事例」	K-1 基本 井上賢裕 芝浦工業大学 教授 飯尾 淳 中央大学 教授 沖浦憲 東京都大学 教授 「産学から学への転身に関する準備の過程 - 大学の立場から、挑戦者の立場から - 3年続いたテーマの締めくくり」	E-5 三浦利義・野口啓一郎 PMツール研究会 「Evolutional Mutual Appreciation (EMA) as Lesson Learnt repository and Sharing tool for Success and Happiness」	L-1 英語 中級 Peter Ivanov consultant 「Virtual Power Teams - how to deliver projects quicker, reduce cost and develop your Organization for the Future!」
11:00 ~ 11:15	休 息 (15分)							
11:15 ~ 12:15 (60min)	田島佳奈 株式会社セールスフォース・クラウド 日本Ignite Innovation Program 責任者 「ユーザー体験デザインとアジャイルによる変革の実現」	M-8 福田宏治・佐藤賢治郎 PMタレントコンピテンシー研究会 「デジタル時代のプロマネは20代からみたら生き残るPM - This is not your father's PM -」	G-2 中級 菅川昌志・金崎 涼 関西プランチ PM創生研究会 「プロジェクトマネジメント - This is not your father's PM -」	H-2 基本 鈴木健介 リスクマネジメント研究会 「新たなステージへ - ベネフィットが切り拓くイノベーションを試み～」	J-2 上級 川端光義 株式会社ウェア 代表取締役CEO 「フォワード型とアジャイル開発のハイブリッド型開発でプロジェクト管理を徐々に変えていく」	K-2 中級 内橋 勳 PMI日本支部 事務局員 「プロジェクトの基礎の基とは ~ 10校のケースに基づくPM教育のフレームワーク ~」	E-6 Peter Ivanov consultant 「Virtual Power Teams - how to deliver projects quicker, reduce cost and develop your Organization for the Future!」	L-2 英語 Dr. Sanjay Kumar Director, Western Coalfields Limited, Nagpur, India 「INNOVATION - THE NEW NORMAL」
12:15 ~ 13:15	休 息 (60分)							
13:15 ~ 14:15 (60min)	佐藤達明 岡山大 副理事URA 「SDGs達成のための転換: 私たちにできることは何か?」	M-9 神庭弘年・石井友美子 PMタレントコンピテンシー研究会 「PM人材のコンピテンシー - PMはどのように活躍するの?」	G-3 中級 浦中 究 関西プランチ 定量的PM事例研究会 「テクニカルコンサルタントの活用と、プロジェクトの傾向」	H-3 基本 折口辰雄・井寺寿利 リスクマネジメント研究会 「「権力とリスク」なぜ最高能力者は失脚したのか? ~ 数々の成功実績を誇るプロジェクト・マネジャーに忍び寄るリスク及びその対応策とは ~」	J-3 上級 前田和哉 株式会社・ティ・エス シニアコンサルタント 「研修会による【研修の内製化の提案】」	K-3 基本 内橋 勳 PMI日本支部 事務局員 「オープンワークシッピング1: PM教育の基礎の基とは」	E-7 Dr. Sanjay Kumar Director, Western Coalfields Limited, Nagpur, India 「INNOVATION - THE NEW NORMAL」	L-3 英語 Nathan Mellin Board President, PMI SF Bay Area Chapter 「Chapter NGL program implementation」
14:15 ~ 14:30	休 息 (15分)							
14:30 ~ 15:30 (60min)	広瀬一朗 高松市総務局参事 「スマートシティが実現する」の実現を目指して」	M-10 遠藤 猛・西原真仁・佐藤美一 PMO研究会 「日本のアジャイルなプロジェクトにおけるPMOの現状と課題」	G-4 基本 河南美章 ステークホルダー研究会 「ステークホルダー・エンゲージメントの勘所 - 支部会員360名からの回答から見える関係者を上手に巻き込むためには ~」	H-4 中級 岡崎正明 関西プランチ 医療PM研究会 「臨床試験に品質マネジメントを導入する際の課題」	J-4 中級 奥田智洋 株式会社・ティ・エス シニアコンサルタント 「行動変革と組織活性化」	K-4 中級 齋藤 学 PMI日本支部 理事 「オープンワークシッピング2: PM視点から見た大学と企業の人材育成 - 未来への変化に対応できるプロジェクト型人材について」	E-8 Nathan Mellin Board President, PMI SF Bay Area Chapter 「Chapter NGL program implementation」	L-4 英語 坂本健太郎 IRC研究会 「Make your system resilient against VUCA world」
15:30 ~ 15:45	休 息 (15分)							
15:45 ~ 16:45 (60min)	菊島晴夫 南山大学 客員教授 「IT開発プロジェクト成功のためのPMカレッジ」	M-11 設楽智久・高橋一朗 PMO研究会 「海外動向から見た日本のPMOへの提言」	G-5 中級 庄司敏浩 BA研究会 「ビジネスアナリストにおけるスコープモデル」	H-5 中級 池田修一・西村理恵 組織的プロジェクトマネジメント研究会 「OPMの新標準に基づく組織のOPM活用」	J-5 中級 松井 淳 関西プランチ IT上流工程研究会 「プロジェクトマネジメント - これからの10年を考える - ビジネス貢献のための10のパターン -」	K-5 中級 除村健徳 芝浦工業大学 教授 「オープンワークシッピング3: プロジェクトマネジメント視点で産学連携をより強化するために - 産学連携をより強化するために、PBLなど題材に、現状の課題や対応を考える -」	E-9 坂本健太郎 IRC研究会 「Make your system resilient against VUCA world」	L-5 英語 基本 森山 武 BA研究会 「PMIビジネスアナリスト・ガイド」内容紹介」
16:45 ~ 17:00	休 息 (15分)							
17:00 ~ 18:00 (60min)	辻谷美紀 TIS株式会社 エグゼクティブフェロー 「ITを活用した社会課題へのチャレンジ」	M-12 北岡 忠・西原真仁 PMO研究会 「組織PMOにおけるリスク評価・リスク分析の比較」	G-6 中級 山本雅也 山本雅也 プロジェクトマネジメント研究会 「ナレッジ・マネジメントの本質とは?」	H-6 中級 堀尾洋人・金子貴示 組織的プロジェクトマネジメント研究会 「組織における変革(チェンジ)マネジメントの実現 その2」	J-6 中級 武井浩樹 株式会社・ピー・エム エグゼクティブ・フェロー プロジェクト・マネジャー 「デジタル時代を生き抜くPM育成とプロジェクトマネジメント高度化へのAI活用について」	K-6 基本 伴 和子 PM翻訳・出版研究会 「PMBOK®ガイド建設版の翻訳を通して PMI標準本の日本語化プロジェクトのあるべき姿を考えた」	E-10 基本 森山 武 BA研究会 「PMIビジネスアナリスト・ガイド」内容紹介」	L-6 英語 坂本健太郎 IRC研究会 「Make your system resilient against VUCA world」

□ : 上級、□ : 中級、□ : 基本 (講演者による設定)

## ■ PMI 日本フォーラム2019のご案内



## PMI Japan Chapter Greeting

We are pleased to announce that we will be holding PMI Japan Forum 2019 on July 20 and 21 this year as usual. We would like to express our deepest gratitude to PMI Japan members, corporate and academic sponsors, forum sponsors, and the members of relevant organizations who always endorse the activities of PMI Japan Chapter for all their support, which enables us to continue this forum.

Following the 20th anniversary of PMI Japan Chapter last year, 2019 marks the 50th anniversary of the foundation of PMI Headquarters. In this commemorative year, PMI Headquarters plans to provide a variety of services. We hope that PMI Japan members will also utilize them.

So far in 2019, with the Olympic Games in Tokyo just one year away, there has been a great deal of media coverage about the excellent performance of Japanese athletes at international competitions, which seems to help boost the momentum toward hosting the Olympics. Meanwhile, international tensions remain serious. On the economic front too, populism and nationalism have been spreading, endangering the philosophy of co-prosperity symbolized by free trade. For this reason, there are many uncertain factors also in terms of economy.

When looking at technological innovations supporting economic activities, IoT, big data, AI, and other disruptive technologies that turn traditional business models upside down have been developing at breakneck speed. Under such circumstances, various efforts and trials and errors are repeated to figure out how to adapt to this sweeping trend — a major turning point in human history — and how to take the initiative.

In line with these developments, aiming at taking the lead in this trend, PMI Headquarters has formulated PMI Transformation Journey, a roadmap to PMI 2.0, and is currently in the process of realizing it. PMI Transformation Journey includes work to review PMI's brand itself from scratch. Under the roadmap, PMI Headquarters has been providing various information and implementing its policy in an effort to earnestly answer fundamental questions, such as how PMI should be like, what services to provide, and who the services should be targeted at. For PMI Japan Chapter, as this year marks the final year of its medium-term plan launched in 2017, it needs to draw up the next medium-term plan. In that context, to ensure that the latest information and assets provided by PMI Headquarters can be shared among our members more quickly and widely, we are committed to timely translating, publishing, and posting the information on the website, and holding seminars.

The theme of PMI Japan Forum 2019 is "Dealing with Challenges — Leading the Innovation," following that of last year's forum. We believe that PMI Japan Chapter has a mission to provide our members with methods and knowhow so that they can achieve various transformations and run ahead of the new trend we all are now faced with. This year as well we have invited lecturers who can share many suggestions and insights on this theme. Please look forward to it.

Last but not least, all the activities of PMI, including PMI Japan Chapter, are supported by volunteers. Again we are sincerely grateful for the extraordinary dedication of our members and all those concerned. Your continued understanding of and support for PMI Japan Chapter's activities are greatly appreciated.

### ■ Participation fee (includes tax)

		Participation Fee			
		PMI Japan Chapter Member	Corporate Sponsor	Non-Member	
Sessions	Early Bird Discount	One Day	17,000 JPY	19,000 JPY	29,000 JPY
		Two Days	24,000 JPY	28,000 JPY	46,000 JPY
	Normal	One Day	18,000 JPY	20,000 JPY	30,000 JPY
		Two Days	26,000 JPY	30,000 JPY	48,000 JPY
Networking in the 1 <sup>st</sup> day		3,000 JPY	3,000 JPY	3,000 JPY	

Contact

e-mail: [forum-2019@pmi-japan.org](mailto:forum-2019@pmi-japan.org)

Registration

(Japanese) <https://www.pmi-japanforum.org/pmij2/forum-2019/index.html>

(English) <https://www.pmi-japanforum.org/pmij2/forum-2019/e/index.html>



## Dealing with Challenges —Leading the Innovation—

■ Date **July 20 – 21, 2019**

Registration ..... 9:30–(20<sup>th</sup>, 21<sup>th</sup>)

Lectures ..... 10:00–18:15 (20<sup>th</sup>)  
10:00–18:00 (21<sup>th</sup>)

Networking ..... 18:30–20:30 (20<sup>th</sup>)

■ Venue for Lectures

**Gakujutsu Sogo Center, Tokyo, Japan**

■ Venue for Networking

**Josui Kaikan (next to the Gakujutsu Sogo Center)**

■ English Sessions

Seven English sessions and 4 translated sessions are available. Only Japanese lectures are available by live streaming.



Gakujutsu Sogo Center  
2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0003  
TEL: 81-3-4212-6321

By Train (Subway)

Tokyo Metro Hanzomon Line / Toei Mita Line / Toei Shinjuku Line "JIMBOCHO" Exit A6, A8 or A9

Toyko Metro Tozai Line "TAKEBASHI" Exit 1b

3-5 minutes walk from the stations

Note 1: PMI chapter members can participate the forum with very attractive low prices. Please join PMI Japan Chapter at this opportunity.

Note 2: Early bird discount will be applied if participation fees are paid by June 21, 2019.

Note 3: Cancellation will not be accepted after payment of application fees. Please make sure that you can attend before applying.

Note 4: If payment is not made within 10 working days of application, the application may be cancelled without notice.

Note 5: PDUs are obtainable for each category of the talent triangle. For further information, please visit our official site of "Attendance Proof" at "Requirements for attendance".

Note 6: An application can be made on a basis of a day. No application only for a half day or one session is allowed.

Note 7: The program is structured to have multiple tracks during the time of 13:30-18:15 on the first day and 10:00-18:00 of the second day. When you apply, please select sessions you wish to attend.

Note 8: Those who wish to listen to the M-1 lecture in English, be sure to come early to take a seat at the main hall.

Activities / 支部活動

PMI 日本フォーラム 2019 のご案内

Program July 20 (SAT)

PMI JAPAN FORUM 2019

Track	Keynotes & Invited (Simultaneous Interpreting Service)	Breakout Session					
		PFM/PGM/Example, Method	General Proj. Mgt/Example, Method	Social	PMBOK®/General Proj. Mgt.	Academic	Training/General Proj. Mgt.
9:30-		Registration (9:30-)					
10:00-10:10	Opening by Kaoru Okuzawa President, PMI Japan Chapter						
10:10-11:10 (60min)	<b>English</b> "The Value of Project Management" - PMI's 2019 Pulse of the Profession™ Mr. Sunil Prashara President & Chief Executive Officer, PMI Mr. Tejas Sura PMI Board of Directors	M-1 and M-2 on air (Only Japanese)	M-1 and M-2 on air (Only Japanese)	M-1 and M-2 on air (Only Japanese)	M-1 and M-2 on air (Only Japanese)		
11:10-12:20	<b>Interpretation available</b> "Past to present and future of project management in the history of modern management" Mr. Tatsuo Sato Prof. Hiroshima Shudo University	M-1 and M-2 on air (Only Japanese)	M-1 and M-2 on air (Only Japanese)	M-1 and M-2 on air (Only Japanese)	M-1 and M-2 on air (Only Japanese)		
12:20-13:30		70-minute LUNCH Time			Lunch session A (40min)	70-minute LUNCH Time	Lunch session B (40min)
13:30-14:30 (60min)	<b>English</b> "Using 'Project Management CANVAS' to collaboratively plan your project portfolio" Mr. Marcelo Sechert PMO Leader at Banco Toyota do Brasil	<b>A-1</b> "Architecture - accelerator of collaboration" Mr. Kenichi Suzuki Prof. Meiji University Mr. Masanobu Nakamura Prof. graduate school, Kagawa University Mr. Kaoru Iseri Agile PM SG	<b>B-1</b> "What we can contribute as management support to regional advanced activities." Mr. Yoshihiro Kanada Mr. Yuhei Nakashima Local Social Management SG, Chubu Br.	<b>C-1</b> "Context of three new processes and an eliminated process in PMBOK® guide 6th edition" Mr. Yasuji Suzuki Project Management SG	<b>D-1</b> "Human resource cultivation of KOSEN in future -Aspect of the collaboration in region -" Mr. Yasuo Utsumi Maizuru College, National Institute of Technology, President SG	<b>E-1</b>	<b>F-1</b> Intermediate/Personal competencies required for Project Managers" Mr. Kazuyuki Taniguchi Ms. Hisako Kawaguchi Human Resources Development SG
14:30-14:45		15-minute break					
14:45-15:45 (60min)	<b>Interpretation available</b> "Language Arts: The Necessary Element for the Future of Japanese Language Education" Ms. Yurika Sammorino Director, Takukuba Language Arts Institute, Ltd.	<b>A-2</b> "Portfolio management case study for midsize Sler" Mr. Takahiro Kamabayashi PFM/PGM SG	<b>B-2</b> "Agile Project Management Awareness Survey Results and Recommendations 2019" Mr. Kitami Iimura Mr. Tooru Onishi Agile PM SG	<b>C-2</b> "Achieving SDGs Part 1 (as an Organization) Practice of CSV (Creating Shared Value)" Mr. Shingo Fujii Mr. Masanori Takahashi Social PM SG	<b>D-2</b> "A must-see for IT people look! PMBOK® Guide CONSTRUCTION EXTENSION of the project management to the construction industry from expanded Japanese!" Ms. Kazuko Ban Mr. Toshiaki Shimoko Standard Promotion Committee	<b>E-2</b>	<b>F-2</b> Intermediate/"Awareness" and "Learning" of young PM fostering methods" Mr. Hisashi Maruyama Junior PM Development SG
15:30-15:45		15-minute break					
16:00-17:00 (60min)	<b>Interpretation available</b> "Survival Strategy of Small-Medium Sized Enterprise that Focuses on Product Development Sticking to 'The World's First'" Mr. Katsutoshi Okada Representative Director Chairman of Board, HIROSE PAPER MFG CO., LTD.	<b>A-3</b> "Theory and Practice of Producer-ship: Produce another earnings for parallel workers" Mr. Fuminori Toyama Mr. Kenichiro Aratake PFM/PGM SG	<b>B-3</b> "Project Management Execution Support" Mr. Kentaro Nomura Director, Management Solutions co., Ltd. Ms. Yoshie Suzuki Analyst, Management Solutions co., Ltd.	<b>C-3</b> "Achieving SDGs Part 2 (as an Individual) Proposal of Agile Parallel Career to enrich the Age of 'life is 100 years'" Mr. Ryota Inaba Mr. Takeshi Okubo Social PM SG	<b>D-3</b> "Project Management that worries PMBOK® Guide from the Field - PMBOK® Guide seen from the site of quality assurance -" Mr. Takamichi Endo PMBOK® Seminar Program	<b>E-3</b>	<b>F-3</b> Advanced/Be the Transformer - Navigating the New Normal of Disruptive Technologies" Ms. Yuhiko Takegami Director, PMI Japan Chapter
17:00-17:15		15-minute break					
17:15-18:15 (60min)	<b>Interpretation available</b> "Overcoming Digital Transformation 'Cliff of 2025' in SOMPO" Mr. Shinichi Urakawa CIO, Sompo Japan Nipponkoa Co., Ltd.	<b>A-4</b> "Insight of Program Management and Benefit Realization Management" Mr. Norihisa Watanabe PFM/PGM SG	<b>B-4</b> "Evolutional Mutual Appreciation (EMA) as Lesson Learnt repository and Sharing tool for Success and Happiness" Mr. Osamu Abe Mr. Koji Matsui PM Tools SG	<b>C-4</b> "Achieving SDGs Part 3 (as a Society) New type of 'Kizuna' - Social participation by pro bono work -" Mr. Susumu Fukuzawa Ms. Masayo Onizuka Ms. Keik Okada Social PM SG	<b>D-4</b> "By myself as an beginner, the First Challenge of 'Mt. Fuji Summit Project - the Key for Success were some Decisions by the Professional as a Tour Guide -" Mr. Joji Katsura PM Practicing SG, Kansai Br.	<b>E-4</b>	<b>F-4</b> Intermediate/Practice of project manager training using case method" Mr. Kazuo Ushiyama Case Method SG
18:15-18:30		15-minute break					
18:30-20:30		120-minute Networking					

July 21 (SUN)

Track	Keynotes & Invited	Breakout Session					
		PMO/General Proj. Mgt.	Example, Method/General Proj. Mgt.	RiskMgt/OPM/Example, Method	Example, Method/General Proj. Mgt.	Academic/General Proj. Mgt.	Global/General Proj. Mgt.
9:30-		Registration (9:30-)					
10:00-11:00 (60min)	<b>Challenge to changing business portfolio - form Sler to business partner"</b> Mr. Satoshi Kurishima President, NTT COMWARE CORPORATION.	<b>M-7</b> "Attractive seminars and events provided by Seminar Program - From a viewpoint of Talent Triangle" Mr. Shinichi Kondo Seminar Program	<b>G-1</b> "What is the Project Management that can lead innovation to success" Mr. Jun Nishimura Mr. Yujiro Tsugei PM Creation SG, Kansai Br.	<b>H-1</b> "A new overall risk analysis method focusing on VUCA - Release from Monte Carlo simulation's spell" Ms. Yasuko Adachi Mr. Hiroyuki Toba Risk Management SG	<b>J-1</b> "The cases studies about Training Business Analysts in Europe." Mr. Haruka Oi senior consultant, LTS, Inc	<b>K-1</b> "From industry practitioners to university professors, how to prepare for career change." Mr. Masahiro Inoue Vice President, Prof. Shibaaura Institute of Technology Mr. Jun Iio Prof. Chuo University Mr. Fumihiko Okura Prof. Tokyo City University	<b>L-1</b> <b>English</b> "Evolutional Mutual Appreciation (EMA) as Lesson Learnt repository and Sharing tool for Success and Happiness" Mr. Toshihiro Miura Mr. Keiichiro Naguchi PM Tools SG
11:00-11:15		15-minute break					
11:15-12:15 (60min)	<b>"Strategic Approach of Project at Medical &amp; Welfare Industry"</b> Ms. Kana Tajima Innovation Japan Lead, Igitae, salesforce.com Co., Ltd.	<b>M-8</b> "PM in the digital age changes like this! - Competency required for PM personnel so far and now -" Mr. Koji Shiota Mr. Kenjiro Sato PM Talent Competency SG	<b>G-2</b> "Surviving Project Manager who of your generation recognize - This is not your father's PM -" Mr. Masashi Sasagawa Mr. Ryo Kanasaki PM Creation SG, Kansai Br.	<b>H-2</b> "Project risk analysis will advance to the next stage - Bayesian inference as an innovative attempt breaks through the current stage -" Mr. Yusuke Suzuki Risk Management SG	<b>J-2</b> "Gradually change project management with hybrid agile-waterfall development" Mr. Mitsuhiro Kawabata CEO, Agileware Inc.	<b>K-2</b> "What is the fundamental elements to be learned in academic institutions?" A proposal of framework on PM education gained from examples of 10 schools -" Mr. Tsutomu Uchihashi PMI Japan Chapter Secretary Office	<b>L-2</b> <b>English</b> "Virtual Power Teams - how to deliver projects quicker, reduce cost and develop your Organization for the Future!" Mr. Peter Ivanov consultant
12:15-13:15		60-minute LUNCH Time					
13:15-14:15 (60min)	<b>"Transformation to Achieve the Sustainable Development Goals(SDGs): industry-academia collaboration, open innovation, policy..."</b> "What can we do?" Mr. Norio Satoh Vice Executive Director & University Research Administrator, Okayama University	<b>M-9</b> "PM Competency - How Project manager make an arousal to be a Project Manager -" Mr. Hiroshi Kamba Ms. Yumiko Ishii PM Talent Competency SG	<b>G-3</b> "Utilization of technical consultants and Consulting project trends" Mr. Kiwamu Uranka Quantitative PM Cases SG, Kansai Br.	<b>H-3</b> "Power and Risk" Why did the highest powers fail? - Risk of creeping up to project managers who have many successful achievements and their countermeasures -" Mr. Osao Origuchi Mr. Nagatoshi Idera Risk Management SG	<b>J-3</b> "Proposal: In-house training program" Mr. Kazuya Maeda Director, TRADE CREATE co., Ltd	<b>K-3</b> "Open Workshop1: What is the fundamental elements to be learned in academic institutions?" Mr. Tsutomu Uchihashi PMI Japan Chapter Secretary Office	<b>L-3</b> <b>English</b> "INNOVATION - THE NEW NORMAL" Mr. Sanjay Kumar Western Coalfields Limited, Nagpur, India Director of Personnel and Sales & Marketing
14:15-14:30		15-minute break					
14:30-15:30 (60min)	<b>"Smart City Takamatsu"</b> Mr. Ichiro Hirose Chief Information Officer, Takamatsu City Government	<b>M-10</b> "Current status and issues of PMO in Japan's agile project" Mr. Takeshi Endo Mr. Masahito Nishihara Mr. Toshiyuki Sato PMO SG	<b>G-4</b> "The vital point of Stakeholder - Engagement - In order to successfully involve stakeholders visible from answers from 360 member chapter members -" Mr. Yoshiaki Kawaminami Stakeholder SG	<b>H-4</b> "Matters in the implementation of quality management in clinical trials" Mr. Masaki Okahashi Medical PM SG, Kansai Br.	<b>J-4</b> "Behavior Innovation and organization revitalization" Mr. Tomohiro Okuda Senior Consultant, IT innovation, Inc	<b>K-4</b> "Open Workshop2: Human resource development of universities and companies from the viewpoint of PM" Mr. Masahito Sato Director, PMI Japan Chapter	<b>L-4</b> <b>English</b> "Chapter NGL program implementation" Mr. Nathan Mellin PMI San Francisco Bay Area Chapter / Wells Fargo Board President / Project Manager
15:30-15:45		15-minute break					
15:45-16:45 (60min)	<b>"Project Manager Capabilities; Key success factors for IT system development"</b> Mr. Yasuhiro Kikushima Visiting Prof. Nanzan University	<b>M-11</b> "Recommendations to PMOs in Japan viewed from overseas trends" Mr. Tomohisa Shidara Mr. Ichiro Takahashi PMO SG	<b>G-5</b> "Scope Model of Business Analysis" Mr. Toshihiro Shoji Business Analysis SG	<b>H-5</b> "Practical Use for the Standard of ORGANIZATIONAL PROJECT MANAGEMENT(OPM)" Mr. Shuichi Ikeda Ms. Rie Nishimura OPM SG	<b>J-5</b> "Think about Project management in the coming decade -Ten patterns for business contribution -" Mr. Jun Matsui IT Projects Upper Stream Process SG, Kansai Br.	<b>K-5</b> "Open Workshop3: How to strengthen the relationship between academia and industry from project management perspective? - Discuss the issues and solutions to make academia and industry closer." Mr. Takeshi Yokemura Prof. Shibaaura Institute of Technology	<b>L-5</b> <b>English</b> "Make your system resilient against VUCA world" Mr. Kentaro Sakamoto International Relation Community SG
16:45-17:00		15-minute break					
17:00-18:00 (60min)	<b>"Challenge to social issues with Information Technology"</b> Mr. Miki Yutani Executive Fellow, TIS Inc.	<b>M-12</b> "Comparison of risk assessment and risk analysis in Enterprise PMO" Mr. Tadashi Kitaoka Mr. Masahito Nishihara PMO SG	<b>G-6</b> "What is the essence of Knowledge Management?" Mr. Masaya Yamamoto Project Management SG	<b>H-6</b> "Realization of Change Management in Organization VOL.2" Mr. Hiroto Horio Mr. Takashi Kaneko OPM SG	<b>J-6</b> "Developing project manager to survive the digital era and utilizing AI to advance project management" Mr. Hiroki Takei Executive Project Manager, IBM Japan, Ltd.	<b>K-6</b> "What is the ideal translation Project for PMI Standard? Through with translation of Construction Extension to the PMBOK® Guide." Ms. Kazuko Ban PM Translation and Publishing SG	<b>L-6</b> "An Introduction to The PMI Guide to Business Analysis" Mr. Takeshi Moriyama Business Analysis SG

Advanced, Intermediate, Basic

# Stakeholders / 法人スポンサー紹介

## ■サイフォーマ株式会社

サイフォーマは、プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント・ソフトウェアのプロバイダーです。3,000社を超える世界中のあらゆる分野の組織と30万人以上のユーザーがSciformaを使って、より効率的で効果的にプロジェクトを管理することで、業績を上げ、戦略目標を達成しています。

米国(シリコンバレー)に本社を有し、アメリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋にオフィスを持ち、世界中に販売代理店網を展開しております。ソフトウェアは7言語に対応しています。



### 1. アイデア管理

アイデアとデマンドを管理することで、限りあるリソースを最良のアイデア、最も期待できるプロジェクトに使うことができます。

Sciformaのアイデアとデマンド管理は、企業ごとのワークフロー、承認プロセスを取り込み、プロジェクトアイデア、リクエスト、プロポーザル、ビジネスケースの優先順位付けを合理化、標準化します。

### 2. ポートフォリオ&プログラムマネジメント

Sciformaでは、プロジェクトの集合をポートフォリオとプログラムの両方で管理することができます。

ポートフォリオ管理は、プロジェクトの選択プロセスを簡単にし、プロジェクトグループへの投資が、企業戦略と事業優先度に見合っていることを確認できます。

プログラム管理の目的は、プログラムマネージャが特定の戦略目標や事業成果ターゲットに対してプログラムをレビューし、管理できることです。そのため、システム内で個別のプロジェクトやポートフォリオと切り離して、戦略的な取り組みやプログラムを支援するプロジェクトの集合を作成、管理できる機能があります。

### 3. プロジェクト管理

Sciformaのプロジェクト・プランニング&マネジメント機能を使うことで、どんなレベルのプロジェクトマネージャでもそれぞれのプロジェクトの工程を計画し、成すべき作業

**Sciforma 7.1**  
よりスマートなデータ主導の意思決定を支援するデータインテリジェンスを提供

特徴:

- スケールブル
- ロバスト
- 使いやすい
- 簡単に実装

Sciforma 7.1は、PPMのライフサイクル全体にわたるプロジェクト管理プロセスの統合ソリューションです。

メリット:

- プロジェクトの失敗率低下
- プロジェクトのサイクルタイム短縮
- コスト超過を削減
- 低価格/無価値プロジェクトの回避
- 付加価値のないタスクに費やすプロジェクト管理時間を削減

と達成すべき成果物を簡単に管理することができます。

システムの目的は、プロセスの整合性、生産性、透過性を上げることです。

プロジェクト情報を連結して一元化し、タスクを自動化することで生産性を確保します。柔軟性が高く、どんなプロジェ

## Stakeholders / 法人スポンサー紹介

### ■サイフォーマ株式会社

クト管理手法にも対応しているため、プロジェクトチームは好きな手法を使って作業できますし、プロジェクトマネージャはSciforma独自のワークパッケージマネジメント機能を使って一部の作業を委託することもできます。

プロジェクトマネージャはベースラインと実績を比較し、テンプレートを改善することで、より生産性を高めることができます。

プロジェクトのステータス、スコープ、課題、変更要求、リソースの相互依存関係、パフォーマンス指標、ビジネスインパクトを可視化することで、透過性を確保します。

パワフルな分析ダッシュボードとレポートのおかげで、ダイナミックな情報がすぐに利用できます。

#### 4. リソース&キャパシティ管理

Sciformaのリソースマネジメントは、リソースプールのジビリティを上げ、発生する作業要求と利用可能なリソース(時間、人、資金)の提供のバランスを取ることでリソース配置のコントロールを強化します。

Sciformaのキャパシティプランニングは、リソースを集約し、役割別に分類し、制限を設けることができ、またそれによって投資、プログラム、プロジェクト、作業項目のリストを制限することができます。リアルタイムのリソース予測ビューを提供することで、追加リソースの雇用、プロジェクトの遅延、承認、中止といった、より良い決定をより早くさせることができます。

#### 5. 工数管理

Sciformaの工数管理は、プロジェクトのチームメンバーが簡単にタイムシートを提出できるように考えられており、プロジェクトマネージャとリソースマネージャには豊富な管理機能を提供します。

チームメンバーは1つの画面で複数のプロジェクトの複数のタスクに関する時間を報告でき、管理者は2段階の承認プロセス(プロジェクトマネージャとリソースマネージャ)でプロジェクト全体の記録として承認します。

#### 6. コラボレーション

Sciformaは、地域や役割の異なるグループが共通して利用できる画期的な連携ワークスペース機能を提供しています。この連携構造により、プロジェクト、ポートフォリオ、チーム間での関連情報の共有と連絡が自動化されます。

また、関連するビジネスケース、リスク、ドキュメント、プロジェクトを共有することができ、より情報に基づいた意思決定を支援することができます。同時に、分散した連携チームの集団知識と経験を意思決定に活用することができます。

#### 7. PMI日本支部に期待すること

PMI日本支部の会員の皆様と情報共有や意見交換をさせていただき、今後の製品開発に生かしたいと考えております。

# PM Calendar / PM カレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。  
詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中】

## ■ 首都圏関連セミナー

### ● ケースメソッド意見交換会

- 日時：7月4日(木) 18:30～21:30
- 場所：PMI日本支部セミナールーム

### ● アジャイルプロジェクトマネジメント基礎

- 日時：8月1日(木) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

### ● 8月度月例セミナー

「日本企業停滞の元凶：PDCA。

日本再興の処方箋：OODAループ」

- 日時：2019年8月7日(水) 19:00～21:00
- 場所：アクセス渋谷フォーラム
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

### ● デザイン思考実践 (2日間)

～顧客経験(CX)からの革新商品&サービス開発～

- 日時：7月8日(月)・9日(火) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 14PDU、ITC実践力ポイント14時間分

### ● アジャイル プロジェクト スタートアップ入門 ～ビジョニング編～

- 日時：8月7日(水) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

## ■ 関西、中部ブランチ関連セミナー

### ● 関西ブランチ主催 抵抗勢力との向き合い方

～働き方改革、業務改革を阻む最大の壁を乗り越えろ～

- 日時：7月5日(金) 19:00～21:00
- 場所：梅田阪急ビルオフィスタワー26F
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

## ■ PMI日本支部関連イベント

### ● PMI日本フォーラム2019

- 日時：2019年7月20日(土)・21日(日)
- 場所：学術総合センター(一橋記念講堂)

### ● PMI Japan Festa 2019

- 日時：2019年11月23日(土)・24日(日)
- 場所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館

**【月例セミナー開催について】**

2019年度の月例セミナーは、下記の日程で渋谷にて行います。

- 
- |                 |   |
|-----------------|---|
| <b>【日程(予定)】</b> | ●2019年 8月 7日(水)<br>●2019年 9月13日(金)<br>●2019年12月11日(水) |
|-----------------|---|
- 

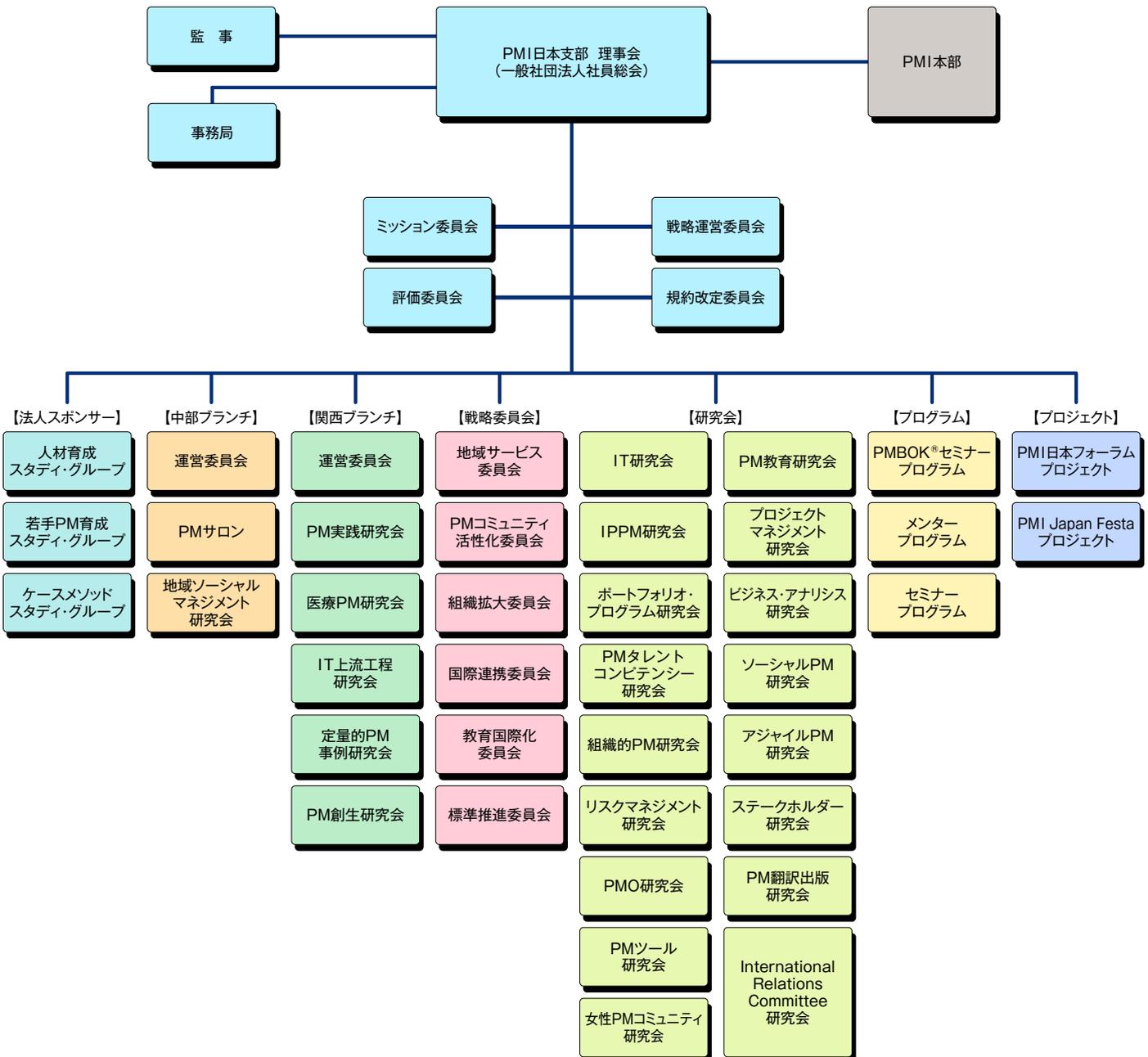
- |              |   |
|--------------|---|
| <b>【場 所】</b> | アクセス渋谷フォーラム<br>東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー24階<br>東京メトロ銀座線、半蔵門線、副都心線 「渋谷」駅 15番出口から徒歩3分 |
|--------------|---|
- 

\*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。  
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。( <https://www.pmi-japan.org/event/> )

# Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

## ■ 支部活動 (2019年6月現在)



## ■理事一覧 (2019年6月現在)

会長 <sup>(※)</sup>	: 奥澤 薫 (KOLABO)
副会長 (地域サービス委員会 <sup>※</sup> )	: 浦田有佳里 (TIS株式会社)
副会長 <sup>(※)</sup>	: 片江有利 (株式会社システムコストマネジメント)
副会長 <sup>(※)</sup>	: 端山 毅 (株式会社NTTデータ)

※規約改定・評価・ミッション・戦略運営の4委員会を兼務

(以下、五十音順)

理事 (組織拡大委員会)	: 麻生重樹 (日本電気株式会社)
理事 (ミッション委員会)	: 池田修一 (株式会社ポジティブ・ラーニング)
理事 (教育国際化委員会)	: 伊藤 衡 (慶応大学大学院)
理事 (教育国際化委員会)	: 井上雅裕 (芝浦工業大学)
理事 (ミッション委員会)	: 岩岡泰夫 (株式会社国際開発センター)
理事 (地域サービス委員会)	: 木南浩司 (株式会社マネジメントソリューションズ)
理事 (組織拡大委員会)	: 斉藤 学 (スカイライト コンサルティング株式会社)
理事 (標準推進委員会)	: 鈴木安而 (PMアソシエイツ株式会社)
理事 (国際連携委員会)	: 武上弥尋 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (標準推進委員会)	: 中嶋秀隆 (プラネット株式会社)
理事 (コミュニティ活性化委員会)	: 福本伸昭 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (財政担当)	: 三嶋良武 (株式会社三菱総合研究所)
理事 (組織拡大委員会)	: 水井悦子 (PMOコンサルティング自営)
理事 (コミュニティ活性化委員会/戦略運営委員会)	: 森田公至 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (教育国際化委員会)	: 除村健俊 (芝浦工業大学)
理事 (組織拡大委員会)	: 渡辺哲也 (株式会社日立インフォメーションアカデミー)
監事	: 神庭弘年 (神庭PM研究所)
監事	: 平石謙治 (ビー・ティー・ジー・インタナショナル)
監事	: 渡辺善子 (株式会社日本政策金融公庫)
顧問 (地域サービス委員会)	: 木下雅裕 (ニッセイ情報テクノロジー株式会社)
顧問 (国際連携委員会)	: 杉村宗泰 (日本マイクロソフト株式会社)
顧問 (コミュニティ活性化委員会)	: 高橋正憲 (PMプロ有限会社)

## ■最新の会員・資格者情報 (2019年4月30日現在)

会員数		資格保有者数								
		PMP <sup>®</sup>		PMI-SP <sup>®</sup>	PMI-RMP <sup>®</sup>	PgMP <sup>®</sup>	PMI-ACP <sup>®</sup>	PfMP <sup>®</sup>	PMI-PBA <sup>®</sup>	CAPM <sup>®</sup>
PMI本部	日本支部	世界全体	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住
569,828人	4,783人	914,483人	37,125人	4人	8人	9人	69人	3人	10人	141人

## ■行政スポンサー (2019年6月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市

## ■法人スポンサー 一覧 (110社、順不同、2019年6月現在)

- TIS株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- 株式会社インテック
- キヤノンITソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTTデータ
- プラネット株式会社
- 株式会社建設技術研究所
- 日本ユニカシステムズ株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ヒューレット・パカード株式会社
- 株式会社アイ・ティー・ワン
- 株式会社タリアセンコンサルティング
- TDCソフト株式会社
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- 株式会社NTTデータ関西
- 日本ユニシス株式会社
- Kepner-Tregoe Japan, LLC.
- JBCC株式会社
- 株式会社富士ゼロックス総合教育研究所
- 日本アイ・ビー・エム・ビズインテック株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立インフォメーションアカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研DCS株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 東芝テック株式会社
- 三菱スペース・ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- NTTデータアイ株式会社
- 新日鉄住金ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- NECネクサソリューションズ株式会社
- 株式会社JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社システム情報
- 住友電工情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- NDIソリューションズ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 富士電機株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- 日本証券テクノロジー株式会社
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- TAC株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社シグマクス
- 株式会社TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS & A株式会社
- 日本システムウエア株式会社
- 日立物流ソフトウェア株式会社
- SCSK株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社
- 株式会社シティアスコム

- SOMPOシステムズ株式会社
- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS & ADシステムズ株式会社
- 日本クイント株式会社
- リコージャパン株式会社
- 株式会社HS情報システムズ
- 株式会社アジャイルウェア
- ソフトバンク・テクノロジー株式会社
- 株式会社インテジテクノスフィア
- 株式会社ネクストスケープ
- セブンスカイズ株式会社
- 関電システムソリューションズ株式会社
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング
- 株式会社リクルートテクノロジーズ
- アクシスインターナショナル株式会社
- 株式会社ネットラーニング
- JFEシステムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
- 富士ゼロックス株式会社
- 大日本印刷株式会社
- 株式会社ビジネスコンサルタント
- 株式会社SHIFT
- サイフォーマ株式会社
- 株式会社オプテージ

## ■アカデミック・スポンサー 一覧 (49教育機関、登録順、2019年6月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学経済科学部
- 北海道大学 大学院情報科学研究科
- 山口大学大学院技術経営研究科
- 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学 ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 情報科学部
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 北海道大学 サステイナビリティ学教育研究センター
- 大阪大学 大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 学校法人中部大学 経営情報学部
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学産学連携推進センター
- 中央大学 文学部社会情報学専攻
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究支援センター
- 東京工科大学大学院 コンピュータサイエンス専攻
- 北海道情報大学
- 山口大学工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 大阪府立大学 21世紀科学研究機構 産学協同高度人材育成センター
- 慶應義塾大学・理工学部・管理工学科・飯島研究室
- 就実大学 経営学部
- 神戸女子大学 家政学部 家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科 大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
- 岡山大学 教育研究プロジェクト戦略本部 戦略プログラム支援ユニット (URA)
- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人国立高等専門学校機構舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室
- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 プロジェクトマネジメント研究室

# Editor's Note / 編集後記

執筆者の皆さまへ。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

- 一年余の時間をかけて2018年11月に「PMBOK®建設拡張版」の日本語化が完遂されました。これを建設産業にPMBOK®が普及する好機ととらえ、ポートフォリオ/プログラム研究会所属の下池季樹氏が、建設産業へのプロジェクトマネジメントの普及に向けて、現状と課題、対応策を提言します。
- 2017年1月に始まった「部会リーダー交流会」は、年度報告会1回と定例会3回の合計4回の会合を各年度で開催しています。発足の経緯や当日の様子などについて、PMコミュニティ活性化委員会委員長の福本伸昭理事、同部会連携ワーキンググループ・リーダーの谷藤樹之氏から報告いただきました。
- 2019年7月20日・21日に迫った「PMI日本フォーラム2019」。今年はPMI本部創立50周年の記念すべき年にあたり、Sunil Prashara 新会長による基調講演から始まります。今は部会発表原稿の査読が佳境を迎えています。今号では80を超える講演プログラムを掲載しました。
- 「法人スポンサー紹介」は、米国シリコンバレーに本社を有するプロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント・ソフトウェアのプロバイダーで、欧米、アジア太平洋など世界中に販売代理店網を展開している「サイフォーマ株式会社」さまです。

## ニューズレター編集担当から読者の皆様へお願い

皆さまからの書評、論評、トピックス、セミナー受講レポート、プロジェクト体験記、PMP認定試験受験体験記などを募集しています。PMI日本支部事務局宛てにお送りください。

日本が議長国となる「G20大阪サミット」が2019年6月28日(金)・29日(土)にインテックス大阪(大阪市住之江区)で開催されます。米国大統領など37の国・国際機関の首脳等が集結するため、国内の国際会議としては史上最大規模の警備体制とか。警備・交通規制のPMの重責はどれほどのものでしょう？

成功裡に終了することを祈念します。

### PMI日本支部ニューズレター Vol.79 2019年6月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局  
 〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階  
 TEL：03-5847-7301 FAX：03-3664-9833  
 E-mail：info@pmi-japan.org  
 ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

(非売品)